

ヒカゲツツジ

Rhododendron keiskei Miq.ツツジ科
Ericaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由	岩場に生育していて、本県では生育地、個体数ともに少ない。人による採取で、個体数の減少が懸念される。
県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群、豊後水道後背地域、大野川上流域、祖母・傾山地、北川上流域
分布域	本州(関東地方以西)、四国、九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
生育環境	低山地や山地の岩場。
現 状	生育環境が厳しいため、個体数の増える可能性は極めて低い。
備 考	国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう、瀬戸内海、耶馬日田英彦山、日豊海岸、祖母傾]

ミヤマキリシマ

Rhododendron kiusianum Makinoツツジ科
Ericaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由	分布域は九州の火山山頂帯に限られ、本県でも主に火山山頂帯の風衝地に生育して、群落をつくる。自然災害や虫の食害もみられるが、植生遷移の進行による環境変化が生育に影響する。また、登山者の踏みつけや人による採取などで、その減少が懸念される。
県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地、津江山地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群、祖母・傾山地
分布域	九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
生育環境	丘陵地の尾根から火山山頂帯の風衝地。
現 状	群生地では登山者の踏みつけや人による採取の被害個所が各所にみられる。
備 考	国指定天然記念物「大船山のミヤマキリシマ群落」(久住町)、県指定天然記念物「経塚山ミヤマキリシマ自生地」(日出町)、国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう、耶馬日田英彦山、祖母傾]

ナンゴクミツバツツジ

Rhododendron mayebarae
Nakai et Haraツツジ科
Ericaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 II

選定理由	分布域は九州に限られる。県内の生育地も点在し、個体数は少ない。森林伐採や人の採取により、生育地の減少や消滅が懸念される。
県内分布	豊後水道後背地域、(祖母・傾山地)、(北川上流域)
分布域	九州(熊本・大分・宮崎)
生育環境	丘陵地から山地の岩場。
現 状	「祖母・傾山地」、「北川上流域」で採集された標本はあるが、その後、生育状態は確認されていない。「豊後水道後背地域」は人里近くに生育しているため、人による採取がみられる。
備 考	九州の特産種。この種類には類似したものが多い。 国定公園指定植物 [祖母傾]